

高血圧の薬をのんでいる方へ ~薬はどこへ作用しているのだろう?~

Ca(カルシウム)拮抗薬	
商品名	
アムロジン	
ノルバスク	
ヒポカ	
コニール	
カルスロット	
バイロテンシン	
バイミカード	
ニバジール	
ペルジピン	

ACE(アンジオテンシン変換酵素)阻害薬		ARB(アンジオテンシンII受容体拮抗薬)
商品名		商品名
カプトリル	タナトリル	ニューロタン プロプレス オルメテック ミカルディス ディオバン
レニベース	ノバロック	
セタプリル	エースコール	
アデカット	コナン	
インヒベース	オドリック	
ゼストリル	プレラン	
ロンゲス	チバセン	

どちらの薬も血管を広げて血圧を下げる作用がありますが...

作用部位

作用部位

A. 血管

血圧を下げるとともに
輸入細動脈を拡張します

糸球体

血圧を下げるとともに
輸出細動脈を拡張します

B. 血管

糸球体血圧の低下が少なく
腎保護作用が弱い

ろ過

尿細管

たんぱく尿を減らす効果がある
=腎臓の保護作用

腎臓に
より
やさしい

*CKD(慢性腎臓病)の進展抑制のために降圧目標を達成するには、多くの場合、多剤併用療法(薬を何種類か同時に使う)が必要です
薬については、勝手にやめたりせずにかかりつけ医とよく相談しましょう